

市の主な取組

4月2日：福島県いわき市へ水道復旧に係る市職員3人を派遣（7日間）
 4月1日：宮城県へ支援物資発送（全部で3.5トン分）
 3月28日：宮城県石巻市へ支援物資発送
 （市民の皆様から提供いただいた紙おむつ、タオル等や企業提供の甘味を抑えた特注しょうゆ、みそ等、全部で3トン分）



3月26日：岩手県大船渡市へ大隅半島4市5町復興支援チームを派遣（うち市職員2人派遣・6日間）
 3月24日：市武道館で支援物資の受付を開始
 3月23日：宮城県石巻市から支援物資要請
 3月23日：福島県二本松市へ支援物資発送（保存食、紙おむつ等の市の備蓄品や企業提供の飲料水等、全部で3トン分）



3月22日：大隅半島4市5町復興支援チームを設置
 3月18日：支援先が福島県二本松市に決定
 3月18日：東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）鹿屋市支援対策室を設置

3月16日：市営住宅での被災者受入を決定
 3月16日：全国市長会緊急災害支援掲示板へ鹿屋市が提供できる支援物資を登録
 3月15日：鹿児島県に鹿屋市が提供できる支援物資を登録

3月14日：緊急消防援助隊鹿児島県団の派遣として、大隅肝属地区消防組合から、救助部隊8人、救助工作車を派遣



3月14日：水道復旧や管路調査にあたる市職員や被災建築物応急危険判定士の派遣を各種機関に登録
 3月14日：「東日本大震災義援金箱」設置



▲震災後も、一部海水に飲み込まれたままの石巻市内



▲大隅肝属地区消防組合救助部隊8人の活動の様子（石巻市）

な体制で迅速に行えるように、18日には鹿屋市支援対策室を設置。同日、全国市長会の掲示板を通じ、市が提供できる支援物資の搬送先が、福島県二本松市に決定し第一便として、23日、保存食、飲料水等を発送しました。
 24日から31日まで、市武道館で支援物資の受付を実施したところ、連日、市内外から、多くの支援物資の提供がありました。さらに、今回、支援

物資の受付や、こん包作業のほとんどを多くのボランティアで支えていただきました。また、幼稚園児が描いた愛情あふれる手紙や高校生が折ってくれた千羽鶴なども届けられ、これらの物資を嶋田市長に直接支援要請のあった宮城県石巻市へ第二便として28日発送。4月1日には第三便として、自衛隊国分駐屯地の車両3台で、宮城県へ支援物資を発送しました。

また、大隅半島4市5町の編成職員による復興支援チームを設置し、市職員から二人を26日、第一陣として岩手県大船渡市へ派遣しました。（うち一人は気仙沼市出身）
 義援金についても、多くの個人や団体、企業からのご協力をいただき、3月31日現在、13,198,430円をお預かりしています。今後、義援金は、日本赤十字社鹿児島



▲園児たちから被災者への手紙

市では、3月11日に発生した東日本大震災を受け、14日、「義援金箱」を市役所、各総合支所、各出張所に設置しました。
 また、同日、県の要請を受け、大隅肝属地区消防組合から、緊急消防援助隊の部隊8人、救助工作車を派遣しました。

15日には、市が提供できる支援物資を県に登録し、被災地からの支援要請に備え、翌16日には、全国市長会の緊急災害支援掲示板を通じ、被災地へ市が提供できる支援物資の情報を発信しました。また、同日、市営住宅での被災者受入について決定しました。
 被災地の復興支援を全庁的

3月11日に発生した東日本大震災によりお亡くなりになられた方々の冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに被災された多くの皆様から心からお見舞いを申し上げます。
 また、この大震災に伴い、市民の皆様からの温かいご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 鹿屋市では、支援対策室を設置し、被災地の皆様に対し、支援物資の提供や救援・救護に係る人員、水道復旧に係る人員の派遣を行うなど、被災地の復興を支援していきます。
 引き続き皆様の温かいご支援・ご協力を願います。
【問い合わせ】市総務課消防防災室
 ☎0994-31-1124



▲市内のいたる所で行われている義援金の募金活動



▼大船渡市で支援物資の仕分け作業を行う鹿屋市職員2人

がんばろう日本

～ 震災復興に向けて ～

